

上熊本駅起点コース

<p>◎ 古都を実感！ 「夏目漱石旧居」 坪井周辺探索コース</p>	<p>約120分</p>	<p>夏目漱石、小泉八雲、横井小楠などが過ごした町。上熊本駅から「漱石の道」を歩いて多くの人々が活躍した町【坪井】を探索します。</p>
<p>◎ 熊本の発展の基盤を短期間で造られた誇り高い 加藤清正公の墓所「本妙寺」コース</p>	<p>約120分</p>	<p>本妙寺・浄池廟にお参りし、清正公立像までを歩きます。コースは3つあります。浄池廟のみお参りの方は車でお行きください。</p>

「漱石の道」から五高(現在の熊本大学)方面を望む



上熊本駅前に建つ夏目漱石の像



加藤清正を祀る「本妙寺浄池廟」



「本妙寺」裏の清正公銅像前から熊本城を望む



コースの起点「上熊本駅」



熊本市立必由館高校敷地「採釣園」



● 古都を実感！「夏目漱石旧居」坪井周辺探索コース[1/2]

●スタート上熊本駅～ゴール熊本市電(通町筋電停)(目安約120分)

●上熊本駅から坪井スタート地点へ★

夏目漱石は第五高等学校(現在の熊本大学)の教師として1896(明治29)年4月13日に上熊本駅に降りました。そして人力車に乗り、熊本での第一歩が始まりました。上熊本駅前に像が建てられています。



●バス……第一環状線「駅1」に駅前で購入。壺川小前で下車。

●徒歩……約20分

途中「漱石の道」と呼ばれている坂を通りますが、漱石は立田山が見える坂道で熊本を「森の都」と称しています。↓

上熊本駅から登り坂を歩いて行くと左に京陵中学校があり、前に「漱石の句碑」があります。



熊本電鉄に乗ってみませんか?

東京都営地下鉄、南海電鉄、東京メトロなどで運用されていた色々な電車が譲渡され走っています。時間があましたら、色々な電車に乗車されると、日本を代表する大都会の東京・大阪を超過員で走行していた状態を想像しながら、熊本のローカルな風景が楽しめます。

「藤崎宮前駅」から終点の「御代志駅」まで26分です。日中はほぼ30分間隔です。時間帯によりますが、自転車も乗れます。

途中、民家スレスレを走る様子は湘南のミニ江ノ電に乗車の気分になるかもしれません。カーブでキーキーとなる電車の音は正に江ノ電です。

※東急電鉄を走っていた「青ガエル」は2016年2月14日にラストランがあり大勢のファンがつかめかけました。



熊本に日本に大きく影響を及ぼした多くの人が活躍した街【坪井】

詳細を【2/2】に示します。

[在来線] 植木・玉名方面↑
[新幹線] 新玉名・新大阪方面↑

上熊本駅

JR線
(新幹線・在来線)

九州森林管理局

拡大

坪井川 (2級河川)
熊本市北区改寄町(あらきまち)を水源として熊本市西区の高橋稲荷付近で井芹川と合流するまで約20km余りの川です。

京陵中学校の前に「漱石の句碑」があります

「漱石の道」と呼ばれています。

【わが輩通り】
藤崎宮-崇城大学間

↓[在来線] 熊本・川尻方面
↓[新幹線] 熊本・新八代方面

予備校の名門

1930(昭和5)年創業の日本で二番目に誕生の予備校。現業の予備校としては日本一古い歴史と実績があります。郷土愛に燃え、郷土を誇りとする幅広い人間性を育成する予備校として更に発展して欲しいものです。



護国神社

県立美術館

加藤神社

美術館別館

日本郵政グループビル

(各社九州支社・本部)

熊本城

伝統工芸館

藤崎宮前駅

国道3号線

白川

通町筋電停

アーケード

下通り

アーケード

熊本市役所

(中央区役所)

上熊本駅の歴史

1891(明治24)年7月1日に池田駅として開業。1901(明治34)年に上熊本駅と名称を変更。1913(大正2)年に洋風木造平屋建ての駅舎になりました。在来線の高架事業で駅舎の一部が市電上熊本駅電停の駅舎になっています。駅前には熊本市電と熊本電鉄が乗り入れています。

古都を実感！「夏目漱石旧居」坪井周辺探索コース ●[2/2]

●スタート上熊本駅～ゴール熊本市電(通町筋電停)(目安約120分)

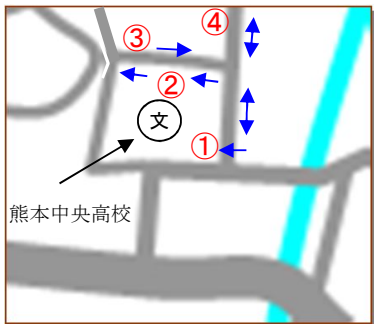
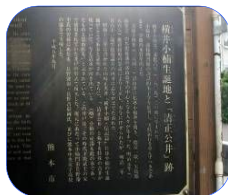
③佐々友房生誕の地

突当たりの敷地の中に説明板があります。友房は現在の熊本県立済々黌高等学校の前身である同心学舎を創立しました。



②横井小楠生誕の地

1809(文化6)年熊本藩士の次男としてこの地に生誕する。藩校「時習館」に学び、抜群の成績で塾長となりました。私塾を開き、最後は「四時軒」(熊本市東区沼山津。電話096-368-6158)とし、坂本龍馬も訪れています。



①夏目漱石内坪井旧居

1896(明治29)年、第五高等学校(現在の熊本大学)の教師として熊本に来た4年余りの間に6回転居しています。坪井旧居は5番目で一番気に入っていた様で現存しています。長女筆子はここで生まれました。夫婦の堅い絆は熊本の地で育まれました。小説「草枕」「二百十日」などを書いています。

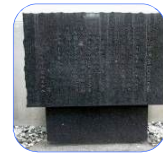
④宮部鼎蔵・旧居跡

尊王攘夷派。肥後勤王党で天下の大勢を知る為、江戸に出向き吉田松陰と親交を深めました。1864年6月池田屋での会談中、新撰組の襲撃を受け自刀しました。



⑤小泉八雲旧居跡

ラフカディオ・ハーン、日本名は小泉八雲。1891(明治24)年、第五高等学校(現在の熊本大学)の教師として熊本に来た第二旧居です。



⑥必由館高校内史跡

高校敷地内にある史跡です。団体で見学される場合は高校に事前に電話して下さい。

(Tel.096-343-0236)

●採釣園

細川五代藩主綱利の時代につくられた庭園です。

●井上毅生誕碑

明治の近代文化功労者。大日本帝国憲法、教育勅語などの起草者として知られています。碑の側に井戸があり産湯として使用されました。



⑦赤鳥居(立田口大神宮)

坪井の象徴の赤鳥居です。参勤交代の途中、藩主はここ出入口で伴揃えをして豊後街道を経て鶴崎(今の大分市。当時は肥後藩の飛び地)から海路で江戸に向いました。※鶴崎を肥後藩の飛び地にしたのは加藤清正公です。

尚、近くに国道3号線が走っています。某大手地図会社やインターネット地図では「薩摩街道・鹿児島街道」と表示されていますが、全く根拠のない表示です。昭和の新道で通称「清水パイパス」の起点です。

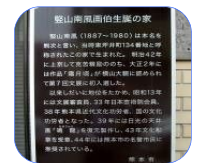


大神宮は赤鳥居の直ぐ側です



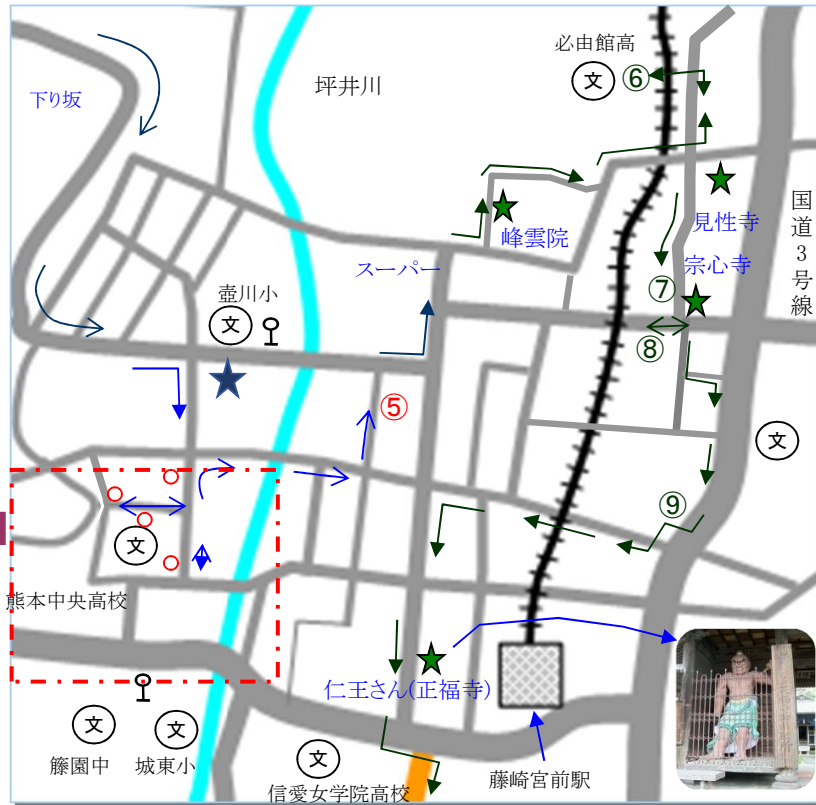
⑧堅山南風生家跡(文化勲章受賞者)

日本画家・横山大観に師事。焼失した日光東照宮の鳴龍を復元しました。小さいですが、説明板が建っています。



⑨報恩寺

放浪の俳人・種田山頭火は1925(大正14)年にこの寺で出家・得度しました。境内に句碑があります。また壺川由来の井戸(境内の奥の東側)があります。



拡大

開館時間 9時30分～16時30分
入館料 高校生以上200円
小・中学生100円
休館日 月曜(祝日の場合は翌日)
電話 096-325-9127

加藤清正公 善政の神様です

1562(永祿5)年6月24日、尾張(現在の愛知県)の生まれ。秀吉と遠縁関係の清正公は幼少の時から秀吉に仕え、賤ヶ岳(現在の滋賀県長浜市)の戦いで「七本槍」の一人として活躍しました。

肥後には佐々成政の失政の後、1588(天正16)年に肥後北半国の領主として入国しました。27歳の時でした。貧しかった肥後を豊かな国に変革させる手を次々に実行(河川改修、灌漑用水路、新田開発、南蛮貿易、肥後の国・町づくりなど)しました。

1600(慶長5)年関ヶ原の戦いでは石田三成、小西行長との確執から東軍につきまし。小西滅亡後に肥後54万石の有力な大名となりました。1601(慶長6)年に熊本城築城に着手し1607(慶長12)年に最強の城「熊本城」が完成。地名も隈本から熊本へ変更したのも清正公です。

豊臣家の安泰を願って、命をかけて1611(慶長16)年に二条城で秀吉の遺児秀頼と徳川家康を会見させることが出来ました。熊本に帰る途中で発病(原因は諸説がある様です)、6月24日熊本城で亡くなりました。享年49歳。

◎熊本の地に命を捧げた清正公

亡くなるまでの22年の間に文禄・慶長の役で7年間戦い続けたことを考え合わせると、約15年という短期間で熊本の基盤造りをされたこととなります。単に熊本城の築城だけではなく、今風で言うビジョンを持った都市計画、産業育成を次々に実行、大きな功績を後世に残されました。現存する史跡は県下一円にあり、その後、熊本の地に多才な人財を輩出する土壌を創られたと言っても過言ではないでしょう。領主になったばかりではなく強い郷土愛・誇りと篤い思いがなければ、これだけの功績は遺されなかったと思われま。郷土づくりにまい進された清正公を人々は、時代を超えて畏敬の念を込め「せいしよこさん」と呼び親しんでいます。今こそ清正公に学び続けることが必要でしょう。

熊本の発展の基盤を短期間で造られた誇り高い

● 加藤清正公の墓所「本妙寺」コース [1/2]

●スタート 本妙寺入口電停～ゴール 本妙寺入口電停(目安約120分)



成道寺
天福寺の近くにあり1426年開山の古いお寺です。境内には見事な庭園が広がります。



本妙寺の裏山(本妙寺山)の八合目に高さ約8m余りの清正公銅像が建っています。1935(昭和10)年に安置され、戦時中に金属供出で撤去されましたが、1960(昭和35)年に再建しました。

岳林寺
熊本市西区島崎にあります。「くまもと春の植木市」を命じて始めたと言われる隈本城主の城親賢の墓があります。隈本城は熊本城が出来る前の城です。

天福寺
熊本市西区花園にあります。1668年開山。細川家歴代の祈願所でした。境内には「新四国33ヶ所観世音菩薩」の石仏があります。

井芹川(2級河川)
上流では名前が違い、熊本市北区植木町の植木駅付近を流れる鏡田(あぶみだ)川です。北区北部町から井芹川と呼び熊本市西区の高橋稲荷付近で坪井川と合流するまで約15kmの川です。清正公が改修した川でもあります。

本妙寺 (参考文献:大本堂前の説明板)
1585(天正13)年に清正公が父清忠公の菩提寺として大阪に建立したものを1586(天正14)年、肥後入国の後、熊本城内に移し、さらに1611(慶長16)年に清正公逝去のあと、現在地に移建されたものです。日蓮宗六条門流九州総本山(大本山は京都の本願寺)です。石段を登りつめた所に清正公がまつられている「浄池廟(じょうちびょう)」があります。毎年7月23日の夜「頓写会(とんしゃえ)」は終夜、参詣人で賑わいます。



拡大
詳細を【2/2】に示します。

加藤家断絶(二代目忠廣公)

清正公の亡き後、二代目として加藤忠廣公があとを継ぎました。しかし、1632年6月言われ無き理由で改易され、庄内藩主・酒井忠勝預かりの身となりました。更に幕府は14歳の長男光正を飛騨高山(岐阜県)で、3歳の次男光良と生母を上州沼田(群馬県)に流し、それぞれ切腹させるという暴挙をしました。清正公は関ヶ原の戦い時、九州にて東軍の徳川を支援しましたが、その徳川から加藤家は清正公亡きあと二代目忠廣公で改易され終焉させられました。忠廣公没後約300年後、本妙寺住職塩出日等上人は忠廣公一族が故郷の清正公のお側に還られるようにと県民有志と「加藤忠廣公顕彰会」を設立し1937(昭和12)年に清正公墓所の浄池廟の膝下に、五霊位の分霊を迎え「六喜廟」として祀られました。

忠廣公の墓所は丸岡城跡(山形県鶴岡市)にひっそりとあります。

熊本の発展の基盤を短期間で造られた誇り高い
加藤清正公の墓所「本妙寺」コース ● [2/2]
 ●スタート 本妙寺入口電停～ゴール 本妙寺入口電停(目安約120分)

浄池廟

清正公の墓所です。浄池は清正公の法号から取られており、熊本城と相対した位置にあります。

⑦浄池廟本殿

清正公の墓所です。清正公死後に殉職した墓所の両脇には家老の大木兼能と近侍の金宦(きんかん。朝鮮人)の墓があります。清正公の人柄が偲べれます。



⑥浄池廟拝殿



⑤中門



浄池廟から相対する熊本城方面を望む↓

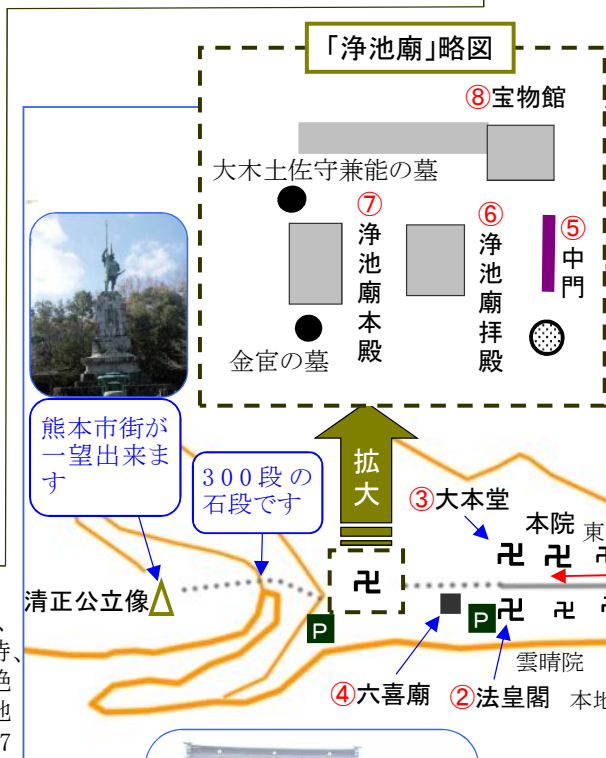


④六喜廟

【1/2】に記載していますが、加藤家は二代目忠廣公の時、徳川幕府の暴挙にあい断絶させられました。妻子は別地で切腹させられました。1937(昭和12)年に清正公墓所の浄池廟の膝下に、分霊を迎え「六喜廟」として祀られました。



徒歩 約2分 「浄池廟」へ176段の左側石段を登っていくと途中にあります。



地元の製粉会社
 上熊本駅から見えるシンボリックな工場です。約70年近い歴史があります。約74万人の大都市なのに自然豊かで天然水豊富な自慢の熊本市。食品工業の基本環境に相応しい熊本市に立地している企業だからこそ安全・安心感があります。これを強みに更に発展して欲しいものです。



★上熊本駅の通りを挟んでバス停の横に夏目漱石の銅像があります。⇒漱石は第五高等学校(現在の熊本大学)の教師として明治29年4月13日に上熊本駅に降りました。



上熊本駅

JR上熊本駅は高架駅。駅前には熊本市電の「上熊本駅前」、熊本電鉄の「上熊本駅」があります。



①仁王門
 (貴重な構造物)
 本妙寺入口電停から通りを直進すると巨大な門に到着します。本妙寺の総門です。小倉の小林徳一郎氏が私財を投じ、大正6年に鉄筋コンクリートの門を寄進され、100年の歴史は貴重な遺産。それ以前は木製の門で入口は現在の左側の小道にありました。



徒歩約4分 仁王門を過ぎると参道があり、両側には本妙寺の子院の寺が並んでいます。



②法皇閣
 「浄池廟」への石段直前の左側にあります。お釈迦様の立像が安置されています。毎年、4月8日は「灌仏会(かんぶつえ)はなまつり」がおこなわれます。地元では若い女性が一つだけお願いすると叶うと伝えられ、良縁を願う女性がお参りされるそうです。